

LCD Monitor

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しております。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



**LMD-9050
LMD-9030
LMD-9020**

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
8ページの「使用上のご注意（性能を保持するために）」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください

△ 危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れにより死亡や大けがになります。

△ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

△ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



感電



火災

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を接続せよ



プラグをコンセントから抜く

目次

警告	4
注意	5
電池についての安全上のご注意	7
電池のリサイクルについて	7
使用上のご注意（性能を保持するために）	8
液晶画面について	8
液晶画面の輝点・減点について	8
お手入れのしかた	8
ラックマウントについて	8
破棄するときは	8
ファンエラーについて	8
主な特長	9
各部の名称と働き	11
前面パネル	11
入力信号と調整・設定項目	13
背面パネル	14
ラックへの取り付け	15
電源	16
AC アダプターおよびバッテリーパックの取り付け かた	16
AC 電源コードを接続するとき	16
基本設定の選択	17
メニュー表示言語の切り換え	18
メニューの操作方法	19
メニューを使った調整	21
項目一覧	21
調整と設定	21
設定状態メニュー	21
ホワイトバランスメニュー	21
ユーザーコントロールメニュー	22
ユーザー設定メニュー	22
リモートパラレルメニュー	24
キーロックメニュー	25
故障かな？と思ったら	25
保証書とアフターサービス	26
保証書	26
アフターサービス	26
主な仕様	26
寸法図	29

この取扱説明書について

本書では以下の機種について説明しています。

- ・ LMD-9050
- ・ LMD-9030
- ・ LMD-9020

イラストは LMD-9050 を使用して説明してあります。

説明が異なる場合は、別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。

取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



指示

指定の電源電圧で使う

取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。

DC（直流）電源で動作できるモニターは、取扱説明書に記されている電源アダプターでお使いください。

指定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。

- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



注意

転倒、移動防止の処置をする

本機をラックに取り付け・取りはずしするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。

安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

また、設置・取付け場所の強度を充分にお確かめください。



指示

指定された電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

十分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



指示

安定した場所に設置する

製品が倒れたり、搭載した機器が落下してけがをすることがあります。

十分な強度がある水平な場所に設置してください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・壁から10cm以上離して設置する。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



定期的に内部の掃除を依頼する

指示

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。(有料)
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



注意

密閉環境に設置する際は注意する

本機をラックやモニター棚に収納した際、上下および周辺の機器によりモニター周辺の通風が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。
本機の動作条件温度 0 ℃ から 40 ℃ を保つように上下および周辺機器との隙間を充分に取り、通気孔の確保や通気ファンの設置等の配慮をしてください。



禁止

付属の AC パワーアダプターは指定された製品以外には使用しない

付属の AC パワーアダプターは LMD-9050、9030、9020 専用のアダプターです。
他の機器に使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

アクセサリーの取り付けや、本機の分離・合体を確実に行う

アクセサリーの取り付けかたや、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機やアクセサリーが落下して、けがの原因となることがあります。
オペレーションマニュアルに記載されている方法に従って、確実に行ってください。



指示

指定された方法でラックマウントする

ラック取扱説明書に記載された方法を守らないと、落下して怪我の原因になることがあります。



注意

安定した姿勢でラックマウントする

本機をラックマウントするとき、および取り外すとき、バランスを崩すと機器が落下してけがの原因となることがあります。
安定した姿勢で注意深く作業してください。

電池についての安全上の ご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
 - ①機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
 - ②ソニーのサービス窓口に連絡する。
- ・電池の液が目に入ったら
すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- ・電池の液が皮膚や衣服に付いたら
すぐにきれいな水で洗い流す。
- ・バッテリー収納部内で液が漏れたら
よくふきとつてから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

!**危険**

- ・充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャーを使用する。
- ・火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- ・直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

!**警告**

- ・ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- ・点部や④極と⑤極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- ・所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- ・電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあったときは、すぐに使用や充電をやめる。
- ・水や海水につけたり、濡らしたりしない。

!**注意**

- ・充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

電池のリサイクルについて



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になつたりチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JRBC ホームページ <http://www.jrcb.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

使用上のご注意（性能を保持するために）

液晶画面について

液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を痛めてしまします。窓際や室外に置くなどはご注意ください。

液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。

寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがあります、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。

固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。

使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがあります、故障ではありません。

液晶画面の輝点・減点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じこともあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニター画面のお手入れについて

モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面にいた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはス

クリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、性能維持のため上下に 1 U 空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

破棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。「ファンエラー」という警告が出た場合は、電源を切りお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

主な特長

高性能 LCD パネル

高輝度、高コントラスト LCD パネルの採用および広い視野角特性により、様々な照明環境で鮮明に映像を再現できます。屋外で使用するときは、遮光フードとコネクタープロテクターおよびキャリングハンドルの組み立てキット（モニター ENG キット VF-509、別売り）をお使いください。

ラックマウント機能

LMD-9050、9030、9020 は別売りのマウンティングブレケット MB-525 を使って EIA19 インチラックマウントに標準で最大 2 台搭載できます。放送中継車など限られた設置環境に、より多くの機器を搭載可能にした省スペース設計です。

モニタースタンド

スタンドを立てるとモニター画面を 90° にして設置することができます。

軽量薄型と AC パワーアダプター搭載機能

軽量薄型設計のため放送中継車への重量負担が軽減され、より広い作業空間が得られます。また、AC パワーアダプターをモニター背面に搭載できるなど、実際のシステム運用に細かく配慮した設計を施しています。

3 色タリーランプ

赤、緑、アンバーと 3 色表示できるタリーランプを搭載。放送中かどうかなど各入力画像のモニタリング状態を瞬時に把握できます。

モノラルスピーカー搭載

音の再生用にスピーカーを搭載しました。

2 カラー方式

NTSC と PAL の 2 つのカラー方式に対応しており、入力信号に合った方式で画像を再現します。

ブルーオンリーモード

ブルーオンリーモードにすると、入力信号の青色成分が表示されます。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視に便利です。

SDI (HD/D1-SDI) 入力端子 (LMD-9050/9030)

ビデオ機器の HD-SDI 信号 (LMD-9050)、D1-SDI 信号 (LMD-9050/9030) を入力することができます。

アナログ RGB/ コンポーネント入力端子

ビデオ機器のアナログ RGB、コンポーネント信号を入力することができます。

Y/C 入力端子

ビデオ機器などの映像信号を、輝度信号 (Y) と色信号 (C) の 2 つに分離したまま入力することができます。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力することができます。EXT SYNC ボタンを押すと、外部同期で動作します。

自動終端解放 (ハー マークの付いた端子のみ)

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部で 75Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

色温度／ガンマ切り換え機能

高／低 2 つの色温度とあらかじめ設定された 5 つのガンマを用途や好みに応じて選択することができます。色温度は好みに応じて設定することもできます。

アスペクト切り換え機能

入力ビデオ信号に応じて 4:3 と 16:9 の画角を切り換えることができます。

豊富なマーカー装備

センターマーカーなど種々のフィルムアスペクト比に対応したフレーム領域を表示することができます。

スキャン切り換え機能

ビデオ信号入力時に 0%/5% オーバースキャン、-3% アンダースキャン、ズームの画面サイズが選択できます。

スクリーンメニュー機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なモニターの設定や調整をすることができます。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

多言語メニュー表示

メニュー画面より、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語、中国語の 7ヶ国語から選んで画面を表示することができます。

外部リモート機能

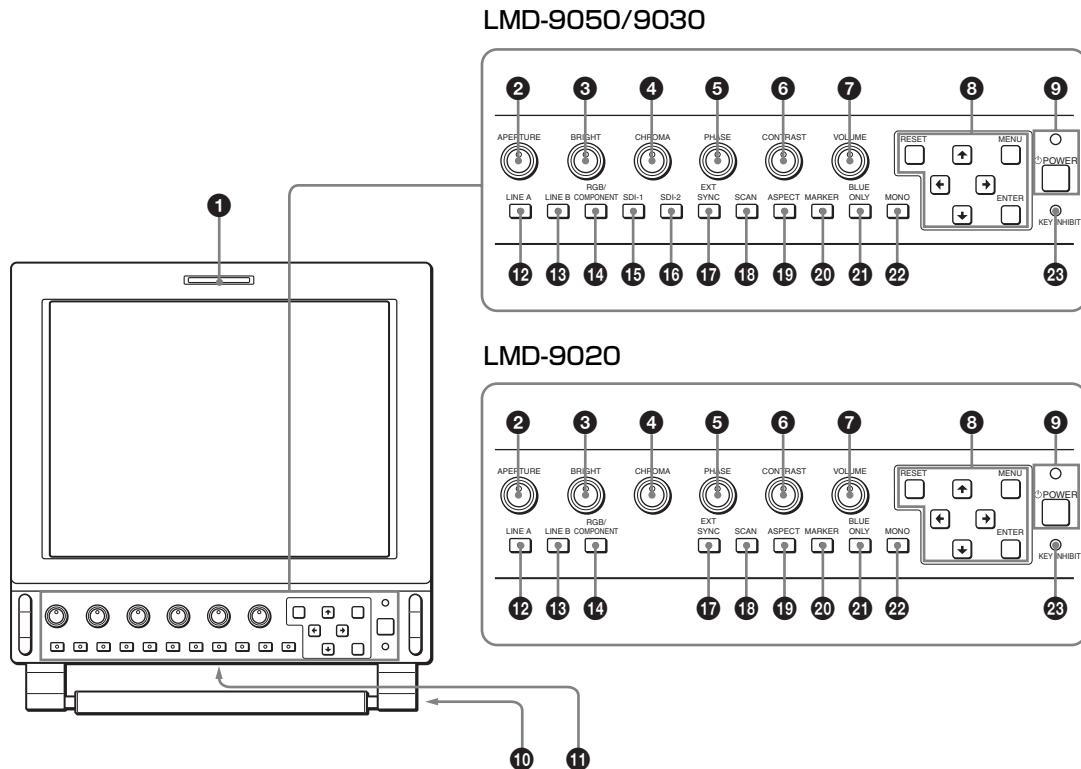
接続した外部機器からの操作で、選択したい入力やアスペクト等を直接選ぶことができます。

バッテリーオペレーション機能

放送業務用のリチウムイオンバッテリーパック BP-L40A で約 3 時間、BP-L90A で約 4.5 時間の操作が可能です。

各部の名称と働き

前面パネル



① タリーランプ

入力画面のモニター状態を色によって表示することができます。

入力信号によって、赤、緑、アンバーで点灯します。

② APERTURE (アパチャー) 調整つまみ

シャープネスを調整します。

右にまわすとくっきりし、左に回すと柔らかになります。

③ BRIGHT (明るさ) 調整つまみ

明るさを調整します。

右にまわすと画面が明るくなり、左に回すと暗くなります。

④ CHROMA (色の濃さ) 調整つまみ

色の濃さを調整します。

右にまわすと色が濃くなり、左に回すと薄くなります。

⑤ PHASE (色相) 調整つまみ

色合いを調整します。

右にまわすと肌色が緑がかり、左に回すと紫がかります。

⑥ CONTRAST (コントラスト) 調整つまみ

コントラストを調整します。

右にまわすとコントラストが強くなり、左に回すと弱くなります。

⑦ VOLUME (音量) 調整つまみ

右にまわすと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

⑧ メニュー操作ボタン

メニュー画面の表示や設定をします。

↑/↓/←/→ (矢印) ボタン

メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

MENU (メニュー) ボタン

メニューを表示したり非表示にしたりするときに使います。

もう一度押すとメニューは消えます。

RESET (リセット) ボタン

調整した項目の調整値を調整前の状態に戻すときに押します。

メニュー画面の項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

ENTER（決定）ボタン

メニューで内容を決定するときには使います。

⑨ POWER（電源）スイッチとインジケーター

スイッチを押すと電源が入り、インジケーターが緑色に点灯します。もう一度押すと、電源が切れます。パワーセービング（節電）状態のときはオレンジ色に点灯します。

⑩ スタンド

後ろに引き出すとモニター画面を90°にして設置することができます。（「スタンドの使いかた」参照）。

⑪ スピーカー

前面の入力切り換えボタンで選んだ入力の音が出力されます。

ヘッドホン端子が接続されているときは音が出力されません。

⑫ LINE A ボタン

LINE A 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

⑬ LINE B ボタン

LINE B 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

⑭ RGB/COMPONENT ボタン

RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

⑮ SDI-1 ボタン（LMD-9050/9030）

SDI IN-1 端子からの信号をモニターするときに押します。

⑯ SDI-2 ボタン（LMD-9050/9030）

SDI IN-2 端子からの信号をモニターするときに押します。

⑰ EXT SYNC（外部同期）ボタン

EXT SYNC IN 端子から入力された外部同期信号で同期をとるときはこのボタンを押します。

EXT SYNC ボタンはコンポーネント /RGB 入力時のみ動作します。

⑱ SCAN（スキャン）切り換えボタン

画像のスキャンサイズを変えることができます。

このボタンを押すとノーマルスキャン（5% オーバースキャン）、-3% アンダースキャン、メニューの「スキャン」（23 ページ）で設定したゼロスキャン、ズーム表示になります。

⑲ ASPECT（アスペクト）切り換えボタン

画面のアスペクト（縦横比）について、4:3 または 16:9 を選びます。

⑳ MARKER（マーカー）ボタン

このボタンを押すと、エリアマーカーが表示されます。

㉑ BLUE ONLY（ブルーオンリー）ボタン

このボタンを押すと、赤と緑の信号がカットされ、入力信号の青色成分が表示されます。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視が容易に行えます。

㉒ MONO（白黒）ボタン

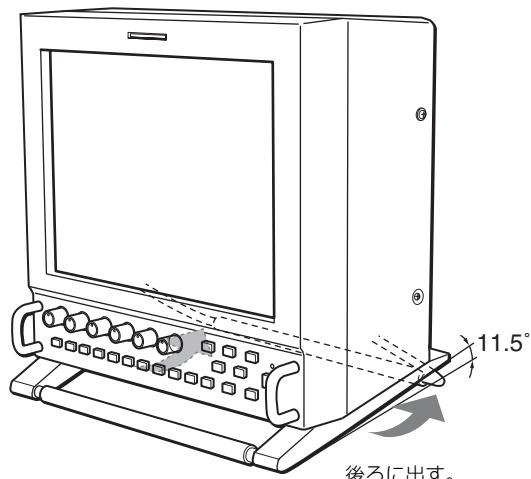
このボタンを押すと、画面が白黒になります。もう一度押すとカラーに戻ります。

㉓ KEY INHIBIT（キーロック）インジケーター

キーロックが働いているときに点灯します。

キーロックについては「キーロックメニュー」（25 ページ）をご覧ください。

スタンドの使いかた



入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号							
	ビデオ、Y/C	白黒信号	コンポーネント		RGB		SDI	
			SD	HD	SD	HD	D1 ^{*3}	HD ^{*4}
コントラスト ^{*1}	○	○	○	○	○	○	○	○
ブライト ^{*1}	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマ ^{*1}	○	×	○	○	×	×	○	○
フェーズ ^{*1}	○(NTSC)	×	×	×	×	×	×	×
APERTURE	○	○	○	○	×	×	○	○
色温度	○	○	○	○	○	○	○	○
垂直シャープネス	○	○	○	×	○	×	○	×
マトリクス ^{*2}	×	×	○	×	×	×	×	×
コンポーネントレベル	×	×	○(480/60I)	×	×	×	×	×
NTSC セットアップレベル	○(NTSC)	○(480/60I)	×	×	×	×	×	×
ガンマ	○	○	○	○	○	○	○	○
EXT SYNC	×	×	○	○	○	○	×	×
SCAN	○	○	○	○	○	○	○	○
ASPECT	○	○	○	×	○	×	○	×
MARKER	○	○	○	○	○	○	○	○
BLUE ONLY	○	×	○	○	○	○	○	○
MONO	○	×	○	○	×	×	○	○
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○	○

*1 SUB CONTROL の設定も同様です。

○：調整・設定できる項目

*2 コンポーネント信号(480/60I または 480/60P) 入力

×：調整・設定できない項目

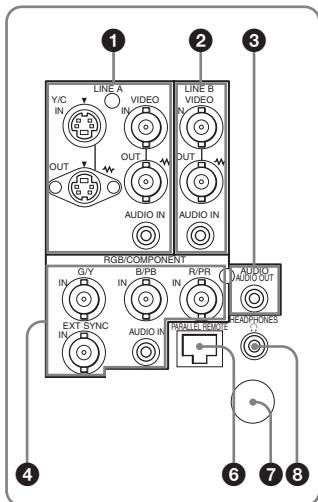
で、コンポーネントレベルが SMPTE に設定されているときのみ切り換えできます。

*3 LMD-9050、9030 に対応します。

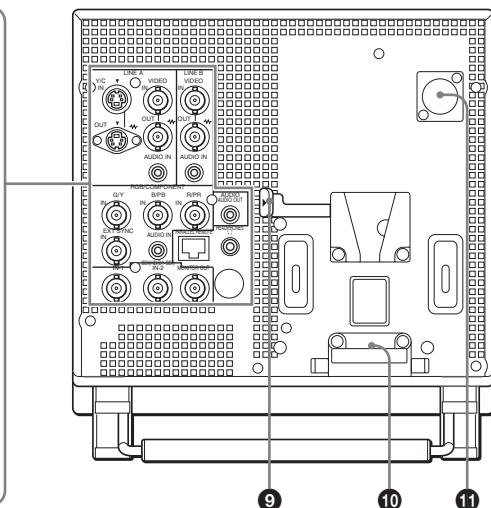
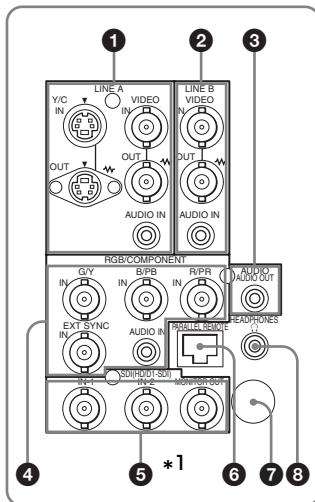
*4 LMD-9050 のみ対応します。

後面パネル

LMD-9020



LMD-9050/9030



① LINE A 入出力端子

Y/C 分離信号、コンポジットビデオ信号の入出力端子と音声信号の入力端子です。OUT 端子はループスルー出力端子です。

前面の LINE A ボタンを押してモニターします。Y/C 入力と VIDEO 入力を同時に接続した場合、Y/C 入力が優先となります。

Y/C IN/OUT (4 ピンミニ DIN)

Y/C 分離の入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど外部機器の Y/C 分離出力および入力端子と接続します。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN (ミニジャック)

音声信号の入力端子です。VTR などの外部機器の音声出力端子と接続します。

② LINE B 入出力端子

コンポジットビデオ信号の入力端子とループスルー出力端子、および音声信号の入力端子です。

前面の LINE B ボタンを押してモニターします。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN (ミニジャック)

音声の入力端子です。VTR などの外部機器の音声出力端子と接続します。

③ AUDIO OUT (音声出力) 端子 (ミニジャック)

前面の入力切り換えボタンで選ばれた機器の音声信号が output されます。SDI-1、SDI-2 を選択した場合は、ユーザー設定メニューで設定された入力が出力されます。(23 ページ参照)

④ RGB/COMPONENT 入力端子

アナログ RGB またはコンポーネント (Y、P_B、P_R) 信号の入力端子です。

前面の RGB/COMPONENT ボタンを押してモニターします。

G/Y、B/P_B、R/P_R IN (BNC 型)

アナログ RGB およびコンポーネント (Y、P_B、P_R) 信号の入力端子です。入力時は、通常 G/Y 信号に含まれている同期信号で動作します。

EXT SYNC IN (外部同期入力) (BNC 型)

本機を外部同期で動作させるときに外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。

外部同期信号を使う場合は前面の EXT SYNC ボタンを押します。

ご注意

本機へジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れことがあります。その場合は、TBC (タイムベースコレクター) の使用をお勧めします。

AUDIO IN (ミニジャック)

映像信号としてアナログ RGB またはコンポーネントを入力する場合に、音声信号の入力端子として使用します。VTR など、外部機器の音声出力端子と接続します。

⑤ SDI (HD/D1-SDI) 入出力端子 (LMD-9050)

SDI (D1-SDI) 入出力端子 (LMD-9030)

シリアルデジタルコンポーネント信号の入力端子（2系統）とシリアルデジタルコンポーネントモニター信号の出力端子です。前面の SDI-1 ボタンまたは SDI-2 ボタンを押してモニターします。

*¹ LMD-9030 では、SDI (D1-SDI) と印字されています。

IN-1 (BNC 型)

シリアルデジタルコンポーネント信号を入力します。

IN-2 (BNC 型)

シリアルデジタルコンポーネント信号を入力します。

MONITOR OUT (BNC 型)

前面の SDI-1 ボタンまたは SDI-2 ボタンで選んだ信号が出力されます。

ご注意

MONITOR OUT 出力は、本線系としての出力規格を満たしていません。

⑥ PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラーコネクター)

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割付について詳しくは、28 ページをご覧ください。

⑦ サービス用端子

サービス用の端子です。

⑧ HEADPHONES 端子

モノラルの音声が出力されます。ステレオヘッドホンを挿入すると両耳にモノラルの音声が出力されます。

⑨ EJECT ボタン

このボタンを押しながら AC アダプターおよびバッテリーパックを取りはずします。

⑩ AC アダプター取り付け部

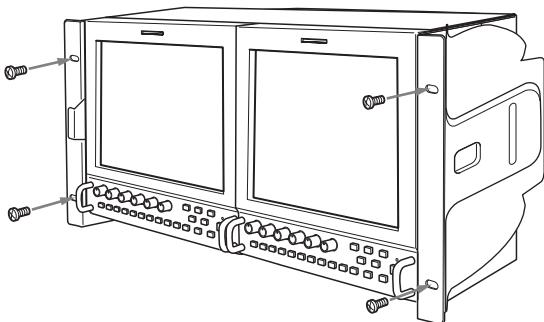
AC アダプターおよびバッテリーパックを取り付けます。

⑪ DC 12V IN ジャック (XLR 型、4 ピン)

外部電源 DC 12V を接続することにより、本機を動作させることができます。

ラックへの取り付け

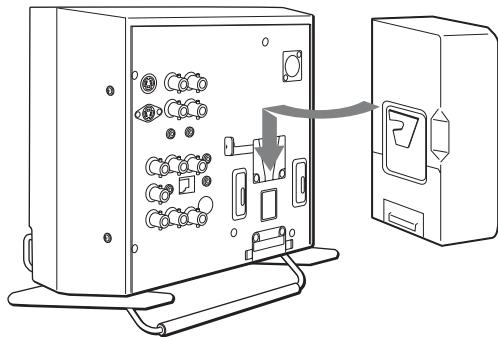
マウンティングブラケット MB-525 (別売り) を使用して、本機を最大 2 台搭載することができます。



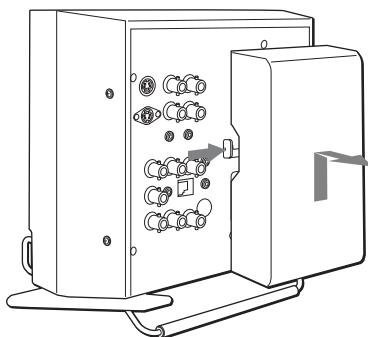
電源

AC アダプターおよびバッテリーパックの取り付けかた

取り付けかた

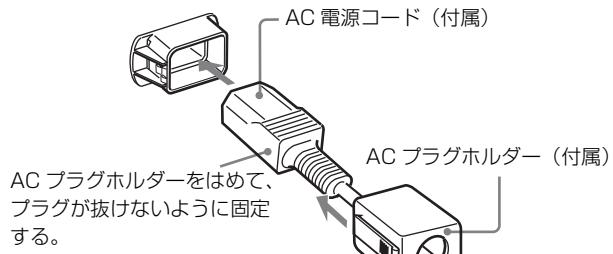


取りはずしかた



AC 電源コードを接続するとき

AC アダプターを取り付けてから付属の電源コードを接続します。



ご注意

- アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。
- このモニターには、必ず付属の電源コードをご使用ください。他の電源コードを使用する場合には、このモニターは VCCI の規格に適合しない可能性があります。

警告

本機は一次電源遮断スイッチを備えていません。設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

ご注意

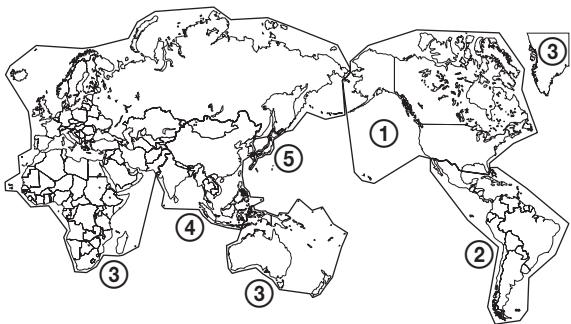
- AC アダプターは LMD-9050、9030、9020 専用です。他の製品には使用できません。
- AC アダプターを取りはずすときは、必ず先に電源コードをはずしてから行ってください。
- バッテリーパックをお使いになるときは、バッテリーパックの取扱説明書もあわせてご覧ください。

基本設定の選択

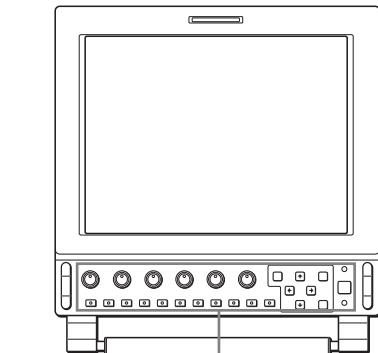
はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。

地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

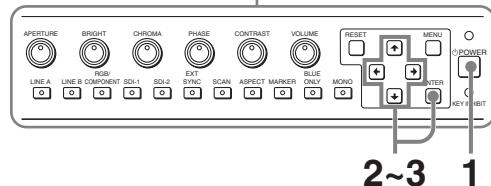
地域別基本設定値



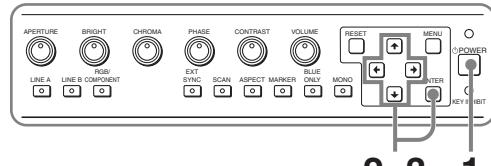
	色温度	コンポーネントレベル	NTSCセットアップ
①NORTH AMERICA	Low	BETA7.5	7.5
②LATIN AMERICA PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	Low	SMPTE 0
	PARAGUAY	Low	SMPTE 0
	URUGUAY	Low	SMPTE 0
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	Low	BETA7.5 7.5
③AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST		Low	SMPTE 0
④ASIA EXCEPT JAPAN	NTSC AREA	Low	BETA7.5 7.5
	PAL AREA	Low	SMPTE 0
⑤JAPAN	High	SMPTE	0



LMD-9050/9030

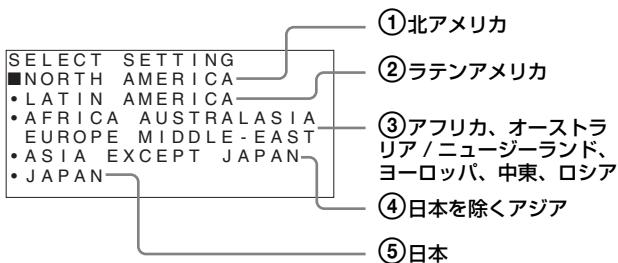


LMD-9020



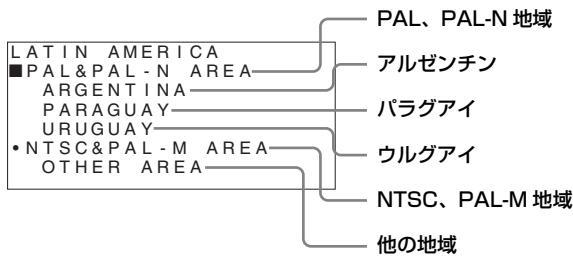
2~3 1

- 1 POWER スイッチを押す。
本機の電源が入り、SELECT SETTING 画面が表示されます。



- 2 ↑ または ↓ ボタンを押して、本機をお使いになる地域を選び、→ または ENTER ボタンを押す。
LATIN AMERICA (ラテンアメリカ)、ASIA EXCEPT JAPAN (日本以外のアジア) が選ばれたときは次の画面が表示されます。

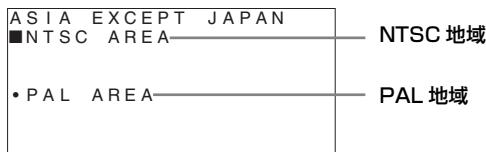
②LATIN AMERICA が選ばれたとき：



④ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：

下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。

他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。



- 3** ↑ または ↓ ボタンを押してさらに地域を限定し、→ または ENTER ボタンを押す。
SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

ご注意

地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。

色温度 (22 ページ)

コンポーネントレベル (22 ページ)

NTSC セットアップ (22 ページ)

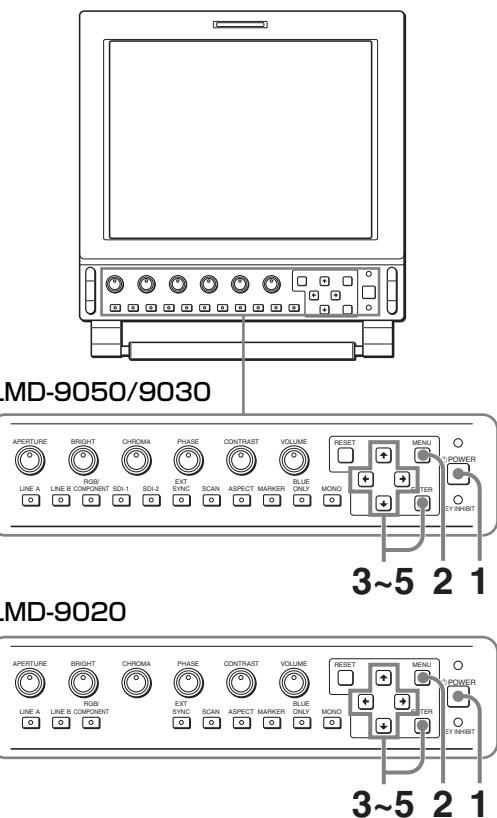
設定値については「地域別基本設定値」(17 ページ) をご覧ください。

メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語 (ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語、中文) の中から選ぶことができます。

地域設定で JAPAN を選んだ場合はメニュー表示言語は自動的に「日本語」に設定されますが、それ以外の地域を選んだ場合は、「ENGLISH」(英語) に設定されます。

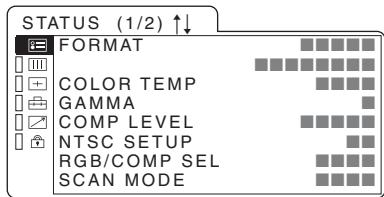
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。



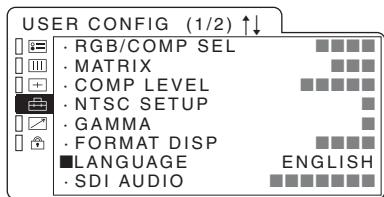
1 POWER スイッチを押して、電源を入れる。

2 MENU ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



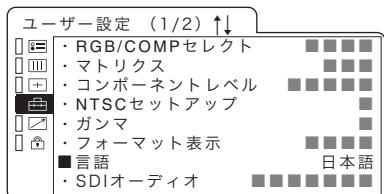
- 3 **↑**ボタンまたは**↓**ボタンを押してUSER CONFIG 1/2 (ユーザー設定 1/2) メニューを選び、**→**またはENTERボタンを押す。
選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。



ご注意

LMD-9020 では、「SDI オーディオ」の項目は表示されません。

- 4 **↑**ボタンまたは**↓**ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、**→**またはENTERボタンを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。
- 5 **↑**ボタンまたは**↓**ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTERボタンを押す。
画面表示が選んだ言語に切り換わります。



ご注意

LMD-9020 では、「SDI オーディオ」の項目は表示されません。

メニュー画面を消すには

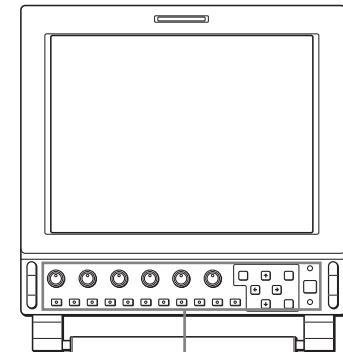
MENUボタンを押す。
約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

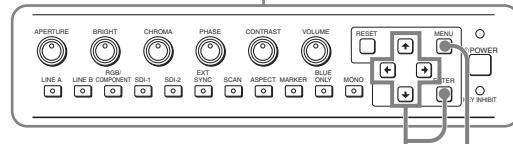
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り替え」（18 ページ）をご覧ください。

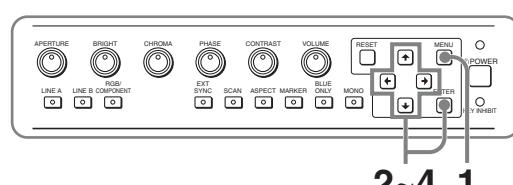
メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。



LMD-9050/9030



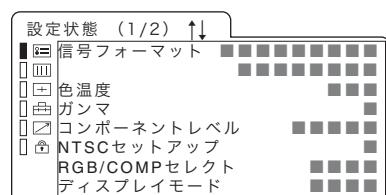
LMD-9020



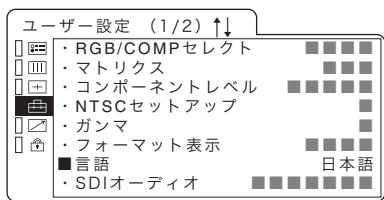
2~4 1

2~4 1

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



- 2 **↑** ボタンまたは **↓** ボタンを押してメニューを選び、
 ➡ または ENTER ボタンを押す。
 選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



ご注意

LMD-9020 では、「SDI オーディオ」の項目は表示されません。

- 3 項目を選ぶ。
↑ ボタンまたは **↓** ボタンを押して設定項目を選び、
 ➡ または ENTER ボタンを押す。
 変更する項目が黄色で表示されます。

ご注意

項目が複数メニューページにおよぶ場合、**↑** ボタンまたは **↓** ボタンを押して必要なメニューページに入ります。

- 4 設定項目の調整や設定をする。
 数値を変更する項目の場合：
 数値を大きくするときは、**↑** ボタンを押す。
 数値を小さくするときは、**↓** ボタンを押す。
 ENTER ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。
 設定を選ぶ場合：
↑ ボタンまたは **↓** ボタンを押して設定を選び、
 ENTER ボタンを押す。

ご注意

- 設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示にかわるとアクセスが可能になります。
- キーロックがオンに設定されている場合、すべて設定項目が青色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをオフに設定しなおしてください。
- 項目によっては上記説明と異なる操作があります。
- ◆キーロックについて詳しくは、25 ページをご覧ください。

メニュー画面を消す

MENU ボタンを押す。
 約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

設定値をリセットする

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整前の値に戻ります。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

■ 設定状態 (表示のみ)

- 信号フォーマット
- 色温度
- ガンマ
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- RGB/COMP セレクト
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- モデル
- シリアル NO.

III ホワイトバランス

- 色温度
- マニュアル調整

⊕ ユーザーコントロール

- サブコントロール
- ピクチャーコントロール

曲線 ユーザー設定

- RGB/COMP セレクト
- マトリクス
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- ガンマ
- フォーマット表示
- 言語
- SDI オーディオ (LMD-9050/9030)
- パワーセービング
- マーカー
- センターマーカー
- マーカーレベル
- マーカーマット
- マーカーライン
- スキャン

□ リモートパラレル

- 1 ピン
- 2 ピン
- 3 ピン
- 4 ピン
- 6 ピン
- 7 ピン
- 8 ピン

■ キーロック

キーロック

調整と設定

■ 設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。



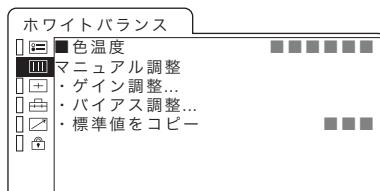
- 信号フォーマット
- 色温度
- ガンマ
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- RGB/COMP セレクト
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- モデル
- シリアル NO.

III ホワイトバランスメニュー

画質のホワイトバランスを調整するメニューです。

ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

推奨品：コニカミノルタ社製カラーナライザー CA-210

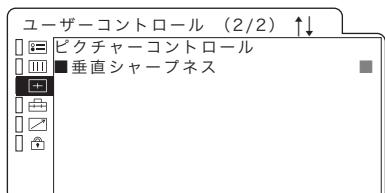
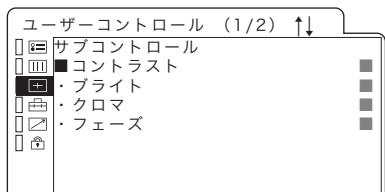


サブメニュー	設定
色温度	色温度を「高」、「低」、「ユーザー設定」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が青色から白色にかわり、調整できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲイン調整 ... : カラーバランス (ゲイン) を調整します。 ・ バイアス調整 ... : カラーバランス (バイアス) を調整します。 ・ 標準値をコピー : 「高」または「低」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。

⊕ ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。

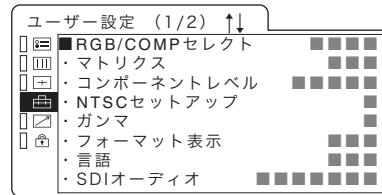
入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。



サブメニュー	設定
サブコントロール	前面の CONTRAST、BRIGHT、CHROMA、PHASE 調整つまみの調整範囲を微調整します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コントラスト : コントラストを調整します。 ・ ブライト : 明るさを調整します。 ・ クロマ : 色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 ・ フェーズ : 色相 (色あい) を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 入力信号と調整・設定項目については、13 ページをご覧ください。
ピクチャーコントロール	画像を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 垂直シャープネス : 垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出すことができます。設定値が大きくなるとくっきりします。

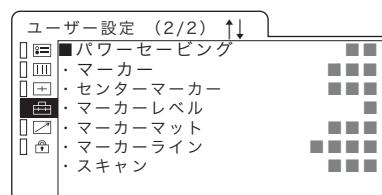
⊕ ユーザー設定メニュー

言語の選択などを設定します。



ご注意

LMD-9020 では、「SDI オーディオ」の項目は表示されません。



サブメニュー 設定

RGB/COMP セレクト	RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターするときに、入力する信号に応じて「RGB」または「コンポーネント」を選択します。
マトリクス	480/60I、480/60P 信号にのみ働きます。601 または 709 を選択します。
コンポーネントレベル	以下の 3 種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ SMPTE : 100/0/100/0 のコンポーネント信号のとき ・ BETA 0 : 100/0/75/0 のコンポーネント信号のとき ・ BETA 7.5 : 100/7.5/75/7.5 のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は 0 で、アメリカでは 7.5 で運用されています。このため輸入ソフトには 7.5 のものがあります。
ガンマ	画像に合わせて最適な状態を選びます。5 段階の中から選ぶことができます。設定値が 3 のとき、CRT とほぼ同じガンマ (2.2) となります。
フォーマット表示	フォーマットが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オン : 常に表示されます。 ・ オフ : 表示されません。 ・ オート : 信号入力開始後約 10 秒間表示されます。

サブメニュー	設定
言語	<p>メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の7言語から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENGLISH：英語 • DEUTSCH：ドイツ語 • FRANÇAIS：フランス語 • ITALIANO：イタリア語 • ESPAÑOL：スペイン語 • 日本語：日本語 • 中文：中国語
SDI オーディオ (LMD-9050/9030)	<p>SDI 信号の音声チャンネルの設定をします。</p> <p>CH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8、CH9、CH10、CH11、CH12、CH13、CH14、CH15、CH16、オフから選択できます。</p>
パワーセービング	<p>節電モードのオン、オフの切り替えを設定します。「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約1分以上続くと節電モードになります。</p>
マーカー	<p>フィルムのフレーム枠を画面に表示させるとき、フィルムに合わせてアスペクト比を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASPECT ボタンで 16:9 が選ばれているとき 4:3、15:9、14:9、13:9、1.85:1、2.35:1、1.85:1 & 4:3、オフから選択します。 • ASPECT ボタンで 4:3 が選ばれているとき 16:9、オフから選択します。
センターマーカー	<p>画像のセンターを表すマーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。</p>
マーカーレベル	<p>「マーカー」表示の輝度を設定します。設定値が小さくなると暗くなります。</p>

ご注意

センターマーカーの輝度は変わりません。

マーカーマット	<p>マーカー表示の外側の部分の画像にマットをかけるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：マットの設定をしません。 • ハーフ：画像が暗くなるマットをかけます。 • ブラック：黒いマットをかけます。
マーカーライン	<p>マーカーの線幅を設定します。</p> <p>「ファイン」、「スタンダード」、「ボルド」と線幅が変わります。</p>

ご注意

センターマーカーの線幅は変わりません。

サブメニュー	設定
スキャン	<p>前面のSCAN切り替えボタンを押したときに動作するディスプレイモードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：「ノーマル」と「アンダースキャン」が動作します。 • ゼロ：「ノーマル」、「アンダースキャン」と「ゼロスキャン」が動作します。 • ズーム：「ノーマル」、「アンダースキャン」と「ズーム」が動作します。 • ゼロ&ズーム：「ノーマル」、「アンダースキャン」、「ゼロスキャン」と「ズーム」が動作します。

ご注意

「ズーム」はアスペクトが16:9のときのみ動作します。

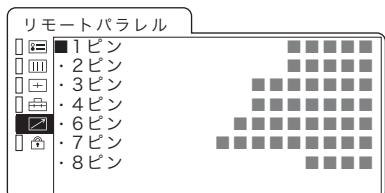
スキャン表示

入力信号	出力信号			
	ゼロスキャン	ノーマルスキャン (5% オーバースキャン)	アンダースキャン	ズーム

□ リモートパラレルメニュー

PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。

1～4、6～8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。



リモートパラレル

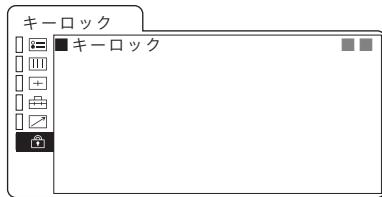
- (--- は機能の割付なし。)
- LINE A
- LINE B
- RGB
- コンポーネント
- SDI 1 (LMD-9050/9030)
- SDI 2 (LMD-9050/9030)
- タリー赤
- タリー緑
- タリーアンバー
- ノーマル
- ゼロスキャン
- アンダースキャン
- ズーム
- 16:9

- 4:3
- 外部同期
- ブルーオンリー
- MONO
- 16:9 マーカー
- 15:9 マーカー
- 14:9 マーカー
- 13:9 マーカー
- 4:3 マーカー
- 1.85:1 & 4:3 マーカー
- 1.85:1 マーカー
- 2.35:1 マーカー
- センターマーカー

ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。
詳しくは 28 ページをご覧ください。

锁定メニュー



各種設定項目の変更が効かないように、锁定を掛けることができます。
オフあるいはオンを選択します。
「オン」に設定した場合、他のメニューの設定項目はすべて青色表示となり、変更できなくなります。
前面パネルの KEY INHIBIT インジケーターが点灯します。锁定をオンにしても、音声ボリュームは調整することができます。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- ・ **RGB/COMPONENT 入力端子に入力した信号で画面が緑色や紫色になる →** ユーザー設定メニューの RGB/COMP セレクト設定で、入力した信号に応じて「RGB」または「コンポーネント」のどちらか正しい方を選択してください。
- ・ **操作ボタンを押しても操作できない →** 锁定が働いています。锁定メニューで锁定の設定をオフに切り換えてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

LCD パネル	a-Si TFT アクティブマトリックス
画面サイズ	8.4 型
	LMD-9050 : 170.5 × 127.9 × 213.1 mm
	LMD-9030/9020 : 170.9 × 128.2 × 213.6 mm (幅×高さ×対角)
解像度	LMD-9050 : 1024 × 768 ドット (XGA) LMD-9030/9020 : 640 × 480 ドット (VGA)
有効画素率	99.99%
視野角	85° / 85° / 85° / 85° (typical) (上／下／左／右、 コントラスト比 > 10 : 1)
アスペクト	4 : 3
色再現性	1677 万色

入出力

入力

LINE A 入力	Y/C 入力 4 ピンミニ DIN (1), Y : 1Vp-p +3dB、 - 6 dB 負同期 C : 0.286 Vp-p ± 3 dB (NTSC burst signal level) 0.3 Vp-p ± 3dB (PAL burst signal level)
VIDEO 入力	BNC 型 (1)、 1 Vp-p + 3 dB、 - 6 dB 負同期
AUDIO 入力	ミニジャック (1)、 - 5 dBu 47 kΩ 以上
LINE B 入力	VIDEO 入力 BNC 型 (1)、 1 Vp-p + 3 dB、 - 6dB 負同期
	AUDIO 入力 ミニジャック (1)、 - 5 dBu 47 kΩ 以上
RGB/COMPONENT 入力	BNC 型 (3)
RGB 入力	0.7 Vp-p + 3 dB、 - 6dB (Sync On Green 0.3 Vp-p 負同期)
コンポーネント入力	0.7 Vp-p + 3 dB、 - 6dB (75% クロ ミナス標準カラーバー信号時)
AUDIO 入力	ミニジャック (1)、 - 5 dBu 47 kΩ 以上
EXT SYNC 入力	BNC 型 (1) 0.3 ~ 4Vp-p 正負両極性 3 値または負極性 2 値

SDI (HD/D1-SDI) 入力 (LMD-9050)	質量	LMD-9050 : 約 3.2 kg
SDI (D1-SDI) 入力 (LMD-9030)	AC アダプター装着時	AC アダプター装着時
LMD-9020 は SDI 未対応	約 3.9 kg	約 3.9 kg
SDI IN-1/SDI IN-2	LMD-9030 : 約 3.1 kg	LMD-9030 : 約 3.1 kg
サンプリング周波数	AC アダプター装着時	AC アダプター装着時
	約 3.8 kg	約 3.8 kg
D1-SDI : Y/R-Y/B-Y 13.5MHz	LMD-9020 : 約 3.0 kg	LMD-9020 : 約 3.0 kg
HD-SDI : Y/Pb/Pr 74.25MHz	AC アダプター装着時	AC アダプター装着時
量子化 10 ビット / サンプル	約 3.7 kg	約 3.7 kg
リモート入力		
パラレルリモート		
モジュラーコネクター 8 ピン (1)		
出力		
LINE A 出力		
Y/C 出力 4 ピンミニ DIN (1)、ループスルー、 75Ω 自動終端機能付き	動作条件	0 ~ 40 °C
VIDEO 出力 BNC 型 (1)、ループスルー、75Ω 自動終端機能付き	推奨使用温度	20 ~ 30 °C
LINE B 出力	湿度	30 ~ 85% 以下 (結露のないこと)
VIDEO 出力 BNC 型 (1)、ループスルー、75Ω 自動終端機能付き	気圧	700 ~ 1060 hPa
SDI (HD/D1-SDI) MONITOR 出力 (LMD-9050)	保存・輸送条件	
SDI (D1-SDI) MONITOR 出力 (LMD-9030)	温度	- 20 ~ 60 °C
LMD-9020 は SDI 未対応	湿度	0 ~ 90%
	気圧	700 ~ 1060 hPa
BNC 型 (1)、 出力信号振幅 : 800mVp-p ± 10% 出力インピーダンス : 75Ω 負平衡	付属品	AC 電源コード (1)
AUDIO 出力 ミニジャック (1)、ループスルー		AC アダプター (1)
HEADPHONES 出力 ミニジャック (1)、ループスルー		AC プラグホルダー (1)
内蔵スピーカー出力 0.5 W (モノラル)		取扱説明書 (1)
		CD-ROM (1)
		CD-ROM マニュアルの使いかた (1)
		保証冊子 (1)

その他

電源	AC100V、50/60 Hz、 0.82 A	マウンティングプラケット MB-525
	LMD-9050 : DC12V、2.2A	マウンティングパネル MB-528
	LMD-9030 : DC12V、1.6A	モニター ENG キット VF-509
	LMD-9020 : DC12V、1.5A	リチャージャブルバッテリーパック BP-L90A、BP-L60S、BP-L40A、 BP-GL95、BP-GL65
消費電力	LMD-9050 : 28W (AC アダプター装着 時) LMD-9030 : 22W (AC アダプター装着 時) LMD-9020 : 20W (AC アダプター装着 時)	* 別売りアクセサリーは予告なく販売終 了とさせていただく場合もあります。
最大外形寸法 (幅／高さ／奥行き)	約 216 × 230 × 159.5 mm AC アダプター装着時 約 216 × 230 × 210 mm	本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する ことがあります、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こす ことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講 ずるよう要求されることがあります。
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故 障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および 保証期間経過後にかかるわらず、補償はいたしかねますの でご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子
モジュラーコネクター
(8 ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 LINE A を指定
2	入力信号 LINE B を指定
3	入力信号コンポーネントを指定
4	入力信号 SDI 1 を指定 (LMD-9050/9030) / タリーランプ緑の ON/OFF (LMD-9020)
5	GND
6	タリーランプ赤の ON/OFF
7	ゼロスキャンの選択
8	アスペクト比 16:9 の選択

機能割り付けは、リモートパラレルメニューで変更できます (24 ページ)。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース (5 ピン) に接続します。

信号方式

本機は下記信号方式に対応しています。

システム	総走査線数	有効走査線数	フレームレート ^{*3}	走査方式	アスペクト比	入力	
						アナログ	SDI (HD/D1-SDI) ^{*4}
575/50I(PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3	EBU N10 (PAL: ITU-R BT.624)	PAL: ITU-R BT.656
480/60I(NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3	SMPTE 253M (NTSC: SMPTE 170M)	SMPTE-259M
576/50P	625	576	50	プログレッシブ	16:9/4:3	ITU-R BT.1358	-
480/60P	525	483	60	プログレッシブ	16:9/4:3	SMPTE 293M	-
1080/24PsF ^{*1}	1125	1080	24	2:1 インターレース	16:9	SMPTE RP211	SMPTE-292M
1080/50I	1125	1080	25	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M	SMPTE-292M
1035/60I ^{*2}	1125	1035	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 260M/BTA S-001B	SMPTE-292M
1080/60I	1125	1080	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B	SMPTE-292M
720/60P	750	720	60	プログレッシブ	16:9	SMPTE 296M	SMPTE-292M
720/50P	750	720	50	プログレッシブ	16:9	SMPTE 296M	SMPTE-296M

*1 画面上のフォーマット表示は 1080/48I と表示されます。

*2 画面上のフォーマット表示は 1080/60I と表示されます。

16:9 の画角内に 1035/1080 の比率で実際の映像が表示されるため、縦上部がやや潰れ下方向にずれて表示されます。

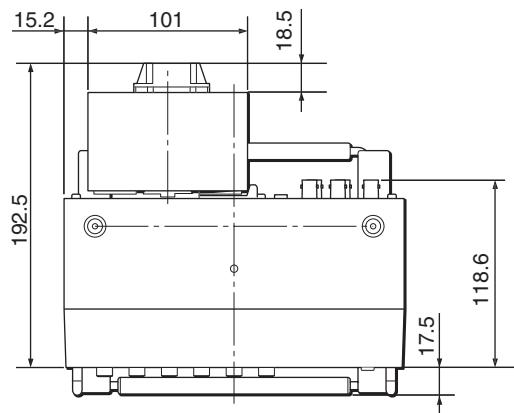
*3 フレームレート 1/1.001 にも対応します。

*4 HD-SDI は LMD-9050 のみ対応します。

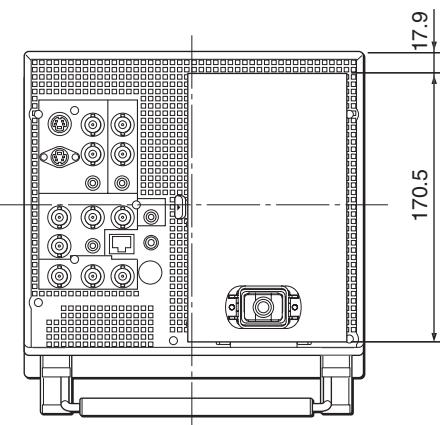
D1-SDI は LMD-9050/9030 に対応します。

寸法図

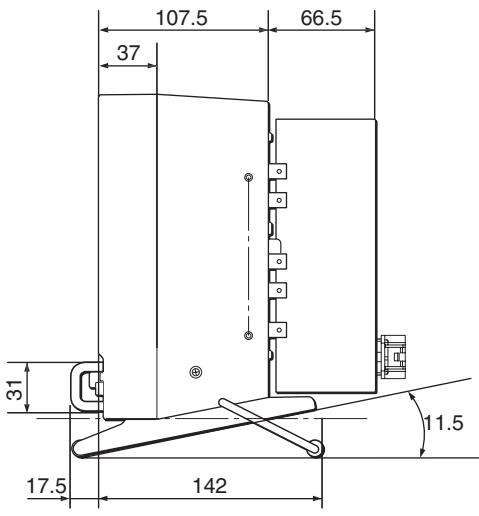
上面



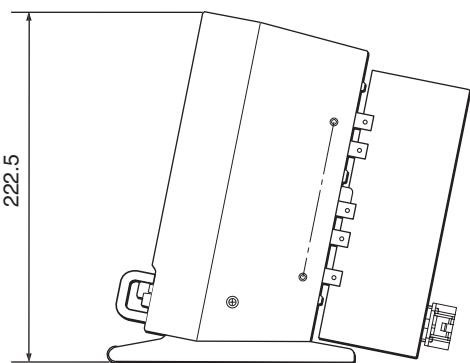
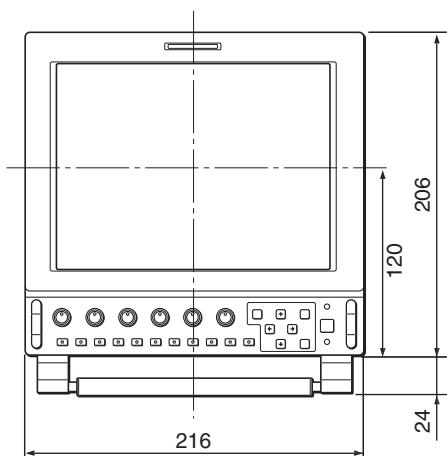
背面



側面



正面



単位: mm

* イラストは LMD-9050 を示しています。

